

当報告の内容は著者の著作物です。

フィールド言語学ワークショップシリーズ・2011 年度第 2 回テクニカルワークショップ

## ELAN によるアノテーション付与と字幕付き動画の作成

**開催日時**：平成 23 年 9 月 25 日（日曜日）午前 10 時～午後 5 時

**開催場所**：AA 研 3 階マルチメディア会議室（304 室）

**講師**：麻生玲子（東京外国語大学大学院博士後期課程・日本学術振興会特別研究員）

### ワークショップ概要：

本ワークショップでは、東京外国語大学大学院博士後期課程・日本学術振興会特別研究員の麻生玲子氏を講師に迎え、マックスプランク心理言語学研究所により開発されたソフトウェア ELAN を用いた動画・音声データへのアノテーション付与の方法と、字幕付き動画ファイルの作成方法を学んだ。プログラムは以下のとおりである。

1. 導入（ELAN の概要）
2. ELAN への音声データの読み込みとアノテーション付与の手順について
3. ELAN への動画データの追加読み込みについて
4. アノテーションファイルのエクスポートについて
5. 字幕付き動画ファイルの作成について

受講者は 8 名であったが、修士課程（博士前期課程）の学生から、フィールドワーク歴数十年のベテラン研究者までと非常にバラエティーに富んだ面々となり、ワークショップ全体にわたって活発な議論・質疑応答が展開された。

データ処理に関するワークショップでは、受講者が各自のデータを持ち寄った場合、フォーマットの違いなどが原因でワークショップの進行が妨げられることがある。本ワークショップでは、サンプルの音声データと動画データを配布し、受講者全員が同じデータを使って作業を進めることが出来るようにしたため、このような状況を回避することができた。しかし、使用するコンピュータの OS を指定しなかったため、特に「字幕付き動画ファイルの作成」において、Windows を使ってできることが、Mac ではできないという問題が生じてしまった。今後のワークショップ企画では、このような問題が生じないよう、十分注意しなければならない。

## 受講者からの感想：

ワークショップ終了後、受講者から次のような感想が寄せられた。

### ワークショップに参加して良かった点

- 時間の余裕があったので、一つ一つきちんと理解できたし、自分で練習する時間もたくさんあり、しっかりと身についたと思う。自分のデータで実践する時間もあり、実際に自分が使う際にどういう問題にぶつかるのかもわかって良かった。ソフトの使い方だけでなく、Youtube へのアップロード方法や、DVD にする方法も学べたので、それを使ってどういうことができるのかを実際に体験できたのも良かった。
- 時間がたっぷりあっており、ゆったりとした気分で作業を進められたのがよかったと思う。
- メール送受信や文章作成以外のパソコン操作に苦手意識が強かったが、今回のワークショップでの楽しい経験を通してパソコン操作について興味が沸き自信も少しついた。
- ワークショップの内容を学ぶことの他に、何人かの研究者と知り合うことができた点が良かった。
- 講師以外にも講師の補助をする方がいて、大いに助かった。
- 動画の音声と対応させながら、transcription ができることや、Youtube へのアップロードのやり方、DVD の作り方など、ELAN を使ってできることが具体的に分かったことが良かった。
- ELAN とは、会話分析やジェスチャー分析に使うものだと思っていましたが、実は他にもさまざまな使い方ができることが分かって勉強になった。
- 参加者が普段どのようなソフトを使用し、どのような点で苦労しているかなどを直接聞くことができた点が良かった。また、ゆったりとした雰囲気を受講できたので、知らない人が多くても参加していて楽しかった。
- ELAN の使い方が分かった。また、その場で直接いろいろ質問できたので、理解が深まったと思う。時間的に余裕があったのも良かった。

### ワークショップで改善すべき点

- 「講師がソフトを操作するのを見ながら一緒にやる」というのは非常に分かり易くて良いのだが、講師の操作スピードが「普通」だと、生徒は「講師を見る」→「自分のパソコンを見る」ということをせざるを得ないので、「自分のパソコンを見る」をやっているときに講師が操作をさらに進めてしまうと、おいてきぼりをくらうことになる。講師は、生徒が自分自身のパソコンを見る時間も考慮した方が良い。
- 付録として今回説明しなかった機能を簡単に説明する応用編があってもよかったように思

う。ELAN は、いろいろな用語が独特なのでその解説として、このような応用編が役立つと思う。

- 個々の作業は資料を見ながら進められるが、現在何のためにその作業をしているのか、また、作業間のつながりがよく分からないときがあった。
- Mac では字幕表示や画像読み込み、また保存方法の点で Windows と異なる部分があり、作業を進める中でいくつか問題があったため、事前に知っていたら当日 Windows のパソコンを準備できたと思う。

報告書作成：長崎郁（AA 研特任研究員）